

支 払 方 法

ア 使用時間報告書により使用機材及び作業員(各項目)の全作業日数における各々の合計使用時間を集計する。

イ 上記アで求めた各々の合計使用時間について、時間については、1時間当たりの単価を乗じて得た金額、分については、分を10で除し得られた整数に10分間当たりの単価を乗じて得た金額を合算し、各項目の支払金額を求める。

ウ 上記イで求めた各項目の支払金額を合算する。

エ 上記ウの金額に、消費税及び地方消費税の額として、当該金額の10%を加算した金額(円未満端数は切り捨て)を合計の支払金額とする。

支払金額計算書(例)

	項 目	合 計(使用時間報告書の合計)	1時間当たりの単価	10分間当たりの単価	時 間	分	支 払 金 額		
1	タイヤショベル (1.4~2.0m ³ 可変プラウ)	3時間45分	A	B	3 × 単価A	+	4 × 単価B=	①	
2	タイヤショベル (1.4~2.0m ³ スノーバケット)	6時間4分	C	D	6 × 単価C	+	0 × 単価D=	②	
3	小型ロータリー (18kw (25PS))	9時間24分	E	F	9 × 単価E	+	2 × 単価F=	③	
4	バックホウ (1.00 (0.70) m ³)	5時間53分	G	H	5 × 単価G	+	5 × 単価H=	④	
5	ダンプトラック (10t) (側版、防音装置と合算)	3時間20分	I	J	3 × 単価I	+	2 × 単価J=	⑤	
6	普通トラック (4t)	6時間35分	K	L	6 × 単価K	+	3 × 単価L=	⑥	
7	普通作業員	2時間00分	M	N	2 × 単価M	+	0 × 単価N=	⑦	
小 計								①+②+③+④+⑤+⑥+⑦	(O)
消費税及び地方消費税額								(O) × 0.1	端数切捨て(P)
合 計								(O)+(P)	